



学校で学び、地域で育つ 慶徳の子 ②

～学校と公民館が Win・Win!～ 喜多方市立慶徳小学校

児童の体力向上&教員の研修時間の確保

慶徳小学校では、水曜日、下校した児童のほとんどが、慶徳公民館の事業である「スポーツアカデミー」に参加しています。

「スポーツアカデミー」では、講師として教員の有資格者や国体出場経験のある方を含め、4名の外部指導者が指導に当たっています。陸上運動を中心にゲーム的な要素を取り入れながら、児童が楽しく運動に親しみ、体力や技能の向上を図る時間となっています。

その時間帯に、学校では「学力向上委員会」を開催し、金曜日の現職教育とは別に、よりよい授業づくり等について話し合う研修の時間としています。各種学力調査の分析をはじめ、普段の授業における課題や悩みについて共有し合える貴重な時間となっています。

水曜日の放課後はこうでしょう！



「スポーツアカデミー」で運動に親しむ児童



「学力向上委員会」で研修に励む先生方

社会教育と連携することで

“豊かな教育環境”を形成しています



「社会に開かれた教育課程」の理念として、社会教育との連携を図ることが示されています。また、第6次福島県総合教育計画の基本目標の一つに「豊かな教育環境の形成」が掲げられています。

慶徳小学校では、公民館（社会教育）と連携することで、放課後の時間を有効に活用し、教員が自ら学ぶ時間の確保と児童の体力向上を図っています。

児童の教育を学校内に閉じずに、地域と連携しながら豊かな教育環境を形成しています。

これから、次年度の教育課程の編成が本格的に進められると思います。学区内の公民館事業について把握することで、学校の教育活動を充実させるためのヒントが見つかるかもしれません。